

【デジタル庁／内閣府／総務省／国交省／NTT／Waymo／トヨタ／ホンダ／日産】

自動運転、スマートモビリティの最前線 2026

日 時 2026年9月28日(月) 午後1時～4時50分
2026年9月29日(火) 午後1時～5時50分
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会 場 紀尾井フォーラム 千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

【DAY1】9月28日(月) 午後1時～5時

I. SIP 第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」について

【13:00～13:50】

日本のモビリティは、人口減少や高齢化などを背景に大きな転換期を迎えている。本取組では、人・モノ・サービスの移動を支える多様なモビリティ資源や新たな移動手段を活用し、ハード・ソフト両面のインフラと街・地域を一体的に改革する社会システムの構築を推進する。機能重視の「モビリティ1.0」から Well-being 重視の「2.0」へ転換し、安全で環境にやさしく、公平でシームレスな移動の実現を目指す。講演ではその概要を説明する。

1. 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要
2. SIP 第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」の取組概要
3. 具体的な研究開発内容の紹介・今後に向けた取組
4. 質疑応答／名刺交換

内閣府 科学技術イノベーション推進事務局 参事官(社会システム基盤担当)付 政策調査員 八幡 昌樹 氏

II. 自動運転社会を支える通信インフラに関する総務省の取組

【14:00～14:50】

調整中

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 係長 松尾 優大 氏

III. 自動運転・スマートモビリティに関する NTT の取組み

【15:00～15:50】

NTT は、自動運転を単なる「車の自動化」ではなく、人・車両・道路・都市がリアルタイムにつながるスマートモビリティ社会の実現契機と捉えています。高信頼通信、AI、路車協調、遠隔管制、データ活用を組み合わせ、地域交通の維持や物流課題の解決に挑戦しています。本講演では、全国での実証・社会実装の事例を交えながら、安心・安全で持続可能な次世代モビリティの世界観をご紹介します。

1. NTT の考えるスマートモビリティ社会
2. NTT モビリティにおける自動運転の取組み紹介
3. 事故ゼロ、安心・安全な自動運転社会の実現に向けて
4. 質疑応答／名刺交換

NTT(株) 執行役員 研究開発マーケティング本部 アライアンス部門長／

NTT モビリティ(株) 取締役 爪長 美菜子 氏

IV. トヨタの交通事故ゼロに向けた取り組み

【16:00～16:50】

交通事故死者数の減少が鈍化する中、トヨタは「安全は普及してこそ」の考えのもと、先進安全技術の進化と普及を進めています。本講演では、Toyota Safety Sense による事故低減効果と残存事故の課題を起点に、データドリブン AI・End-to-End 開発、実車データとシミュレーションによる継続進化、さらにヒト・クルマ・インフラの三位一体で交通事故ゼロを目指す将来像を紹介します。

1. トヨタの安全思想。先進安全技術の進化・展開と事故低減効果
2. データドリブン AI で進化する自動運転開発
3. ヒト・クルマ・インフラの三位一体による将来像
4. 質疑応答／名刺交換

トヨタ自動車(株) 先進安全システム改革部 主査 志田 充央 氏

【DAY2】 9月29日(火) 午後1時～5時50分

I. 「モビリティ・ロードマップ 2026」のご紹介

【13:00～13:50】

デジタル庁では自動運転の社会実装に向けて目指すべき方向性を、令和8年7月21日に「モビリティ・ロードマップ 2026」として取りまとめた。本講演では「モビリティ・ロードマップ 2026」に記した概要、自動運転の現状と自動運転社会実装化に向けた施策について紹介する。

1. 「モビリティ・ロードマップ 2026」の概要
2. 自動運転の社会実装に向けた現状
3. 先行的事業化地域への集中支援を通じた自動運転の社会実装化
4. 質疑応答／名刺交換

デジタル庁 国民向けサービスグループ モビリティ班 統括官付参事官付 主査 武藤 節 氏

II. 「交通空白」解消に向けた地域交通 DX

【14:00～14:50】

近年、人手不足や少子高齢化などの進展により、地域公共交通の供給が制約される一方で、病院・学校の統廃合により、地域公共交通に対する社会的ニーズは拡大する傾向にあり、各地で「交通空白」が生じている。国土交通省では、「交通空白」解消に向け、令和7年度から9年度まで「交通空白解消・集中対策期間」と位置づけ、「交通空白」を将来にわたり安定的に解消していく段階へと発展させるべく取組を深化・加速化している。本講義では、このような問題意識を踏まえた国土交通省の地域交通DX推進プロジェクト「COMmmmons(コモンズ)」のコンセプトやビジョンについて解説する。

1. MaaS
2. 地域交通 DX
3. データ活用
4. 質疑応答／名刺交換

国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 総括課長補佐 渡邊 明博 氏

III. 日産のモビリティサービス実用化へ向けた取り組み

【15:00～15:50】

公共交通の運転手不足や赤字路線からの撤退など、日本各地における移動課題の深刻化について叫ばれて久しい。日産自動車では都市部・地方部それぞれの地域社会における移動課題解決に向け、有人・自動運転両方のモビリティサービスに向けた研究開発および社会実装を進めている。本報告では昨年度から今年度にかけて行ってきたそれぞれのモビリティサービスの実用化に向けた取り組みを紹介する。

1. 浪江町における有人モビリティサービスの事業化
2. 横浜市における自動運転モビリティサービスの運用体制の課題抽出とサービスエコシステムの構築
3. 神戸市における自動運転モビリティサービスによる観光需要創出
4. 質疑応答／名刺交換

日産自動車(株) 総合研究所 モビリティ社会&AI 研究所 主管研究員 高松 吉郎 氏

IV. 自動運転の社会実装に向けた課題と打ち手

【16:00～16:50】

運転自動化レベル4がもたらすインパクトは想像以上で、人手不足解消のみならず経済安全保障の観点からも日本全体で取り組むべき課題。これまでの日本の取組がなぜ成果に繋がらなかったかを正しく見つめ直し、今打つべき手は何かを考える時です。元経済産業省の政策担当者がGM, cruise との協業経験を元に事業者の目線から産業構造問題について語ります。

1. L4 時代の産業構造
2. Cruise 協業からの教訓
3. 日本の「失敗の本質」
4. 日本の処方箋

本田技研工業(株) 自動運転事業企画 LPL 井上 友貴 氏

V. Waymo の取組み(仮題)

【17:00～17:50】

調整中

Waymo ヘッドオブポリシー&ガバメントアフェアーズ 日本・アジア太平洋地域 山本 美香 氏

PROFILE 八幡 昌樹(やはた まさき)氏

建設コンサルタント業界にて、自転車利用推進に資する計画立案や事故削減を目的とした交通安全施策の立案、人流ビッグデータの研究開発等に従事。2025 年 4 月より現職。モビリティ・ディバイドのない社会の実現に向けた研究開発や、省庁横断的なスマートシティ施策の推進に取り組む。

PROFILE 武藤 節(むとう たかし)氏

損害保険会社にて事故対応部門を経験した後、営業部門にてテレマティクス自動車保険(運転行動連動型自動車保険)の提案等に従事。2026 年 4 月にデジタル庁入庁。自動運転の普及に向けたロードマップの策定や先行的事業化地域への伴走支援などの業務に従事。

PROFILE 松尾 優大(まつお ゆうだい)氏

2022 年 総務省入省。入省後、量子通信・量子暗号通信、光 DSP チップ開発等の研究開発の推進、総務省におけるサイバーセキュリティ政策立案等に従事。2025 年7月より現職。自動運転社会に必要な通信インフラの制度整備等の業務に従事。

PROFILE 渡邊 明博(わたなべ あきひろ)氏

2015 年に国土交通省へ入省。国家公務員として、航空、防災、不動産など国土交通省の幅広い分野の政策に携わる。

PROFILE 爪長 美菜子(つめなが みなこ)氏

1995 年 3 月 東京大学工学部卒。1995 年 4 月 日本電信電話株式会社(現 NTT株式会社)入社。2014 年 10 月 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(現 NTTドコモビジネス株式会社) 西日本営業本部 第一営業部門 担当部長。2017 年 7 月 同 経営企画部 サービス戦略部門 担当部長。2019 年 6 月 同 経営企画部 営業戦略部門 担当部長。2020 年 4 月 同 ビジネスソリューション本部 事業推進部 事業推進部門長。2020 年 6 月 日本電信電話株式会社(現 NTT株式会社) 新ビジネス推進室 担当部長。2022 年 6 月 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(現 NTTドコモビジネス株式会社) 取締役(非常勤)。2023 年 6 月 日本電信電話株式会社(現 NTT株式会社) 執行役員 研究開発マーケティング本部 マーケティング部門長。2023 年 6 月 日本情報通信株式会社 取締役(非常勤)(現職)。2024 年 6 月 日本電信電話株式会社(現 NTT株式会社) 執行役員 研究開発マーケティング本部 アライアンス部門長(現職)。2024 年 6 月 株式会社NTTドコモ 取締役(非常勤)(現職)。2025 年 12 月 NTT モビリティ株式会社 取締役(現職)。

PROFILE 山本 美香(やまもと みか)氏

略歴

PROFILE 志田 充央(しだ みつひさ)氏

1998 年 東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻修士課程修了。トヨタ自動車株式会社入社。以降、シャシー系開発、自動運転、V2X 運転支援などの先行開発、製品開発等に従事。2014-18 年 Toyota Mortor North America 出向。General Manager、Department Cordinator として、自動運転、先進安全の現地開発に従事。2019-22 年 トヨタ自動車 自動運転・先進安全開発部 室長として、Toyota Safety Sense 開発等に従事。2022-25 年 Toyota Technical Research and Service Shanghai 出向。副総経理兼部長として、自動運転・先進安全の現地開発に従事。2026 年 トヨタ自動車 先進安全システム改革部 主査(現職)。

PROFILE 井上 友貴(いのうえ ともたか)氏

経済産業省にて大企業発イノベーション政策のほか、宇宙政策、IT 政策、通商貿易政策等を担当。在サンフランシスコ領事館在任中にはシリコンバレーD-Lab を立上げ。経産省退職後、スタートアップに約 4 年間に在籍、その後本田技研工業に転籍。自動運転タクシープロジェクトのプロジェクトリーダーとして GM、Cruise と日本事業計画を推進。GM 撤退後は新しい計画を策定中。東京大学工学部卒・同大学院修士修了、ハーバード大学ケネディスクール MPA 修了。

PROFILE 高松 吉郎(たかまつ よしろう)氏

2004 年 東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻修士課程修了。2004 年 日産自動車株式会社総合研究所入社。以降、振動制御、運転支援、自動運転などの研究開発や研究開発戦略立案に従事。2013-15 年 北米日産会社シリコンバレーオフィス出向。2017 年 九州大学大学院統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻博士後期課程修了 博士(工学)。2018 年 日産自動車株式会社総合研究所主任研究員。2020-22 年 ルノー社出向。2026 年 日産自動車株式会社総合研究所主管研究員。(現職)

●受講料	各日・各受講方法 1名につき 27,500円(税込) ※会場又はライブ配信受講者様でアーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について <1>Zoom にてライブ配信致します。 <2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について <1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。 <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

9月28日(月)・29日(火)	「自動運転、スマートモビリティの最前線」	申込日	月	日
-----------------	----------------------	-----	---	---

貴社名				
所在地	〒			

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

☐ 9月28日(月)	☐ 会場受講	☐ ライブ配信	☐ アーカイブ配信
☐ 9月29日(火)	☐ 会場受講	☐ ライブ配信	☐ アーカイブ配信

フリガナ 氏名			所属部署・役職		
TEL	()	—	FAX	()	—
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

☐ 9月28日(月)	☐ 会場受講	☐ ライブ配信	☐ アーカイブ配信
☐ 9月29日(火)	☐ 会場受講	☐ ライブ配信	☐ アーカイブ配信

フリガナ 氏名			所属部署・役職		
TEL	()	—	FAX	()	—
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄					
-----	--	--	--	--	--

●E-mail アドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]
☐ セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
 ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
 ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
 ※上記お申込フォームに、ご郵送先(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職)をご記入下さい。

■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金

■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26505・26506 -V